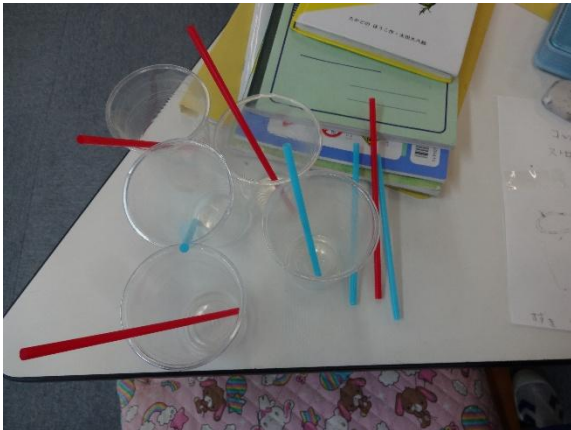




オープンプラン1年生 算数
「のこりはいくつ ちがいはいくつ(ひき算)」

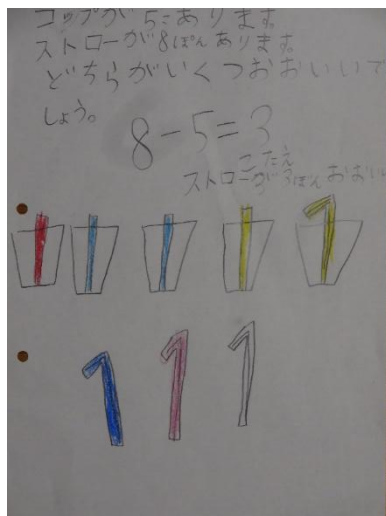
「いぬが5ひきいます。ねこが3ひきいます。どちらがなんびきおおいでしょう。」

1年生にとって、この問題を“ひきざん”とイメージし、解決するのは簡単ではありません。では、どのようなものを教材にすればよいか考えました。



「コップが5こあります。ストローが8ぽんあります。どちらがいくつおおいでしょう。」という問題を提示しました。

するとどうでしょう？子どもたちは自然にコップの中にストローを入れ始めます。「ストローが3本あまったからストローの方が3本多い。」と解決できます。式も $8-5=3$ と無理なく子どもたちが書けるようになります。



このように授業を考える際、子どもの自然な姿や思考をもとに教材を選択していくことも本校の教員が大事にしていることです。

